

16. 整形外科 ジュニア・レジデントプログラム

1. 指導責任者： 仲俣岳晴（整形外科 部長）

2. 期間：4 週間、（必修）（2 年目選択）

3. 目標

【一般目標 GIO】

入院患者さんを担当してもらい、整形外科的疾患の多様さ、その治療法にふれることで、整形外科治療の可能性と限界を学ぶ。同時に、救急外来において整形外科的疾患に対応するために、最低限必要な知識と技能を身につける。

【個別目標 SBO' s】

1. 患者さん、ご家族、また医療スタッフと良好な人間関係を築ける。
2. 上級医あるいは他科への期を逸しない適切なコンサルテーションができる。
3. 整形外科における理学的所見がとれる。
4. 整形外科的疾患の画像診断ができる。

経験する疾患の種類：

外傷性疾患、関節疾患、脊椎、脊髄疾患、炎症性疾患、骨軟部腫瘍、その他

4. 方略 LS

LS 1（OJT）

- 1) 入院患者を上級医の指導のもとで常時 10～20 名担当する。
- 2) 担当症例の手術を見学する。
- 3) 希望があれば、外来診療の見学をさせる。

LS 2（勉強会・カンファレンス）

水曜 カンファレンス（術前、術後）

金曜 抄読会、カンファレンス（術前、術後）

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金	土
AM	8:30 病棟回診	8:30 病棟回診	8:00 カンファレンス	8:30 病棟回診	8:00 抄読会 カンファレンス	8:30 病棟回診
	9:00 手術 病棟回診 外来	9:00 手術 病棟回診 外来	9:00 手術 病棟回診	9:00 手術 病棟回診 外来	9:00 手術 病棟回診	9:00 手術 病棟回診
	手術 病棟回診	手術 病棟回診	手術 病棟回診	手術 病棟回診	手術 病棟回診	手術 病棟回診
PM						

5. 評価 EV

- 1) 指導医・上級医が OJT、カンファレンスなどで適宜形成的評価を行う。
- 2) 研修終了時に指導医は EPOC に評価を記録する。